

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1546 2022/07/16  (事故発生地) 北海道	LEDヘッドライト（リチウムイオンバッテリー、充電式） KC Fire XML-T6  不明 使用期間：約3年8か月	ネット通販で購入したLEDヘッドライトを充電中、LEDヘッドライト付近から出火し、周辺を焼損した。	本体が過充電保護機能を有していなかったため、電池セルが過充電状態となって異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関   (受付:2022/09/21)
2022-0961 2022/05/27  (事故発生地) 埼玉県	LEDランプ（コンパクト形） FPL27形/FPH23形  不明 使用期間：約1年6か月	ネット通販で購入したLEDランプから異音が生じて発煙し、周辺を焼損した。	口金ピンと基板との接続部が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	ネット通販で海外事業者から購入（個人輸入）したものであり、輸入事業者が存在しないため、措置はとれなかった。	消防機関   (受付:2022/06/22)
2022-1831 2022/10/29  (事故発生地) 大阪府	インターホン VL-MV20X  パナソニックシステムネットワークス（株）（現 パナソニック エンターテインメント＆） 使用期間：不明	インターホンから異臭が生じた。	基板上にあるコイル部品の樹脂において、本来の仕様とは異なる難燃剤（保護被膜の施されていない赤リン）が使用されていたため、湿度の影響でリン酸が生じて基板の絶縁性能が低下し、銅箔パターンとコイルのリード端子間で短絡して焼損したものと推定される。	輸入事業者は、2021年12月1日付けでホームページに社告を掲載し、無償で点検及び室内側モニター親機の交換を行っている。また、2022年8月2日より対象範囲を拡大している。	輸入事業者   (受付:2022/11/15)
2022-2422 2023/02/05  (事故発生地) 福島県	インターホン VL-MV25X  パナソニックシステムネットワークス（株）（現 パナソニック エンターテインメント＆） 使用期間：不明	インターホンから異臭が生じた。	基板上にあるコイル部品の樹脂において、本来の仕様とは異なる難燃剤（保護被膜の施されていない赤リン）が使用されていたため、湿度の影響でリン酸が生じて基板の絶縁性能が低下し、銅箔パターンとコイルのリード端子間で短絡して焼損したものと推定される。	輸入事業者は、2021年12月1日付けでホームページに社告を掲載し、無償で点検及び室内側モニター親機の交換を行っている。また、2022年8月2日より対象範囲を拡大している。	輸入事業者   (受付:2023/02/17)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1624 2022/09/06  (事故発生地) 宮城県	エアコン室外機  CU-3M682A2 (ブランド: 松下電器産業 (株))  ダイキン工業 (株)  使用期間: 不 明	エアコン室外機付近から異臭がして発煙した。	端子盤内部において、銅板パターン間でトラッキング現象が生じて焼損したものと推定されるが、端子盤の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	製造事業者は、端子盤周辺の外郭が金属製であり、拡大被害に至る可能性は低いことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、当該製品は既に販売を終了している。	製造事業者   (受付:2022/10/05)
2022-1910 2022/09/10  (事故発生地) 神奈川県	コーヒーマーカー (エスプレッソ式)  ジオットエヴォリゾーネアール  (株)大一電化社  使用期間: 約3年9か月	使用中のコーヒーマーカーから異音が出て火が出た。	制御基板と内部配線を接続しているコネクタ一部が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、異常発熱した原因の特定はできなかった。	輸入事業者は、2022年11月4日付けで顧客に電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、無償で制御基板及びコネクタの交換を行っている。また、2023年3月16日付けでホームページに社告を掲載した。	輸入事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1996 2022/11/27  (事故発生地) 東京都	コーヒーマーカー (エスプレッソ式)  アパルタメント  (株)大一電化社  使用期間: 約2年5か月	使用中のコーヒーマーカーから異音が出て火が出た。	制御基板と内部配線を接続しているコネクタ一部が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、異常発熱した原因の特定はできなかった。	輸入事業者は、2022年11月4日付けで顧客に電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、無償で制御基板及びコネクタの交換を行っている。また、2023年3月16日付けでホームページに社告を掲載した。	輸入事業者   (受付:2022/12/14)
2020-1821 2021/03/01  (事故発生地) 静岡県	サーキュレーター    使用期間: 不 明	使用中のサーキュレーター付近から出火し、周辺を焼損した。	モーター巻線がレイヤショートし、焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	国の行政機関   (受付:2021/03/24)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1593 2022/09/02  (事故発生地) 愛知県	ブースター（電源装置）  PSH20S  DXアンテナ（株）  使用期間：約5年	ブースターの電源の一部が焼損していた。	電源基板のトランジスターに過電流が流れて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、過電流が流れた原因の特定はできなかった。	輸入事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。	消費者センター   (受付:2022/09/28)
2022-2375 2023/01/11  (事故発生地) 千葉県	ふとん乾燥機    使用期間：約4年	ふとん乾燥機付近から出火し、周辺を焼損した。	事故品本体の電気部品に出火の痕跡は認められず、電源コードに溶融痕が認められたが、通常の使用において応力が加わる位置ではないことから、製品に起因しない事故と推定される。	輸入事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。	輸入事業者   (受付:2023/02/08)
2022-2163 2022/03/27  (事故発生地) 宮城県	ポータブル電源（リチウムイオンバッテリー）    使用期間：約1年9か月	ネット通販で購入したポータブル電源を充電中、ポータブル電源付近から異音が生じて出火し、周辺を焼損した。	事故品は、風雨があたらないよう別途用意した樹脂製ケースで覆われていたが、覆いが不十分な状態で屋外に置いたため、雨水等が浸入して短絡が生じ、異常発熱したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関   (受付:2023/01/13)
2022-2173 2023/01/04  (事故発生地) 愛知県	ポータブル電源（リチウムイオンバッテリー）    使用期間：約3年6か月	ネット通販で購入したポータブル電源を充電中、ポータブル電源から発煙して出火し、周辺を焼損した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと考えられるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関   (受付:2023/01/16)



## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2159 2022/12/20  (事故発生地) 北海道	携帯電話機  TONE m15  フリービット(株)  使用期間：約5年9か月	ネット通販で購入した携帯電話機(スマートフォン)を充電中、携帯電話機(スマートフォン)付近から火が出て、周辺を焼損した。	バッテリー(リチウムイオン)が内部短絡して異常発熱し、焼損したものと推定されるが、内部短絡した原因の特定はできなかった。 なお、当該製品はリコール対象品であり、端末識別番号(IMEI)による利用制限がかけられていたが、制限を解除して使用されていた。	輸入事業者は、2020年9月24日付けでホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。	輸入事業者   (受付:2023/01/12)
2022-1920 2022/09/08  (事故発生地) 福島県	掃除機(サイクロン式)    使用期間：約2年3か月	使用中の掃除機から発煙した。	被害者の手入れ不足でダストケースのフィルターが目詰まりしたため、モーターへの風量が低下したことにより、モーター巻線が絶縁劣化してレイヤショートし、発煙したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをする。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者   (受付:2022/12/05)
2021-1588 2021/09/02  (事故発生地) 東京都	太陽光発電器(パワーコンディショナー)    使用期間：約15年	太陽光発電器のパワーコンディショナー付近から異音が生じ、発煙した。	事故品は脱衣所に設置されたため、湿気等の影響を受けてICが故障したことで、電解コンデンサーに過電圧が加わったことによる内圧上昇で安全弁が作動し、噴出した電解液の蒸気が発煙のように見えたものと推定される。 なお、取扱説明書及び据付工事説明書には、「高温・多湿・ほこりの多い場所(脱衣所)に設置しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。	製造事業者は、施工業者の設置不良による事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者   (受付:2021/10/07)
2022-2418 2023/01/30  (事故発生地) 兵庫県	電気オーブントースター    使用期間：不明	使用中の電気オーブントースターから出火し、周辺を焼損した。	事故品を使用中にその場を離れ、更に調理物(揚げ物)を調理する際にトレーを使用しなかったことにより調理物の油が落下し、調理物等を加熱し過ぎたため、焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「油で庫内が汚れるものは、オープン皿を使用する。本体から離れず、焼きすぎに注意する。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	製造事業者   (受付:2023/02/15)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2172 2022/12/03  (事故発生地) 埼玉県	電気オープンレンジ  使用期間：約20年	使用中の電気オープンレンジから発火して周辺を焼損し、2人が軽傷を負った。  (軽傷)	事故品の電気部品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	製造事業者は、使用者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2023/01/16)
2022-1164 2022/07/12  (事故発生地) 愛知県	電気オープンレンジ  JM-V16C  ハイアールジャパンセールス(株) 使用期間：約5年7か月	電気オープンレンジから異音が生じ、庫内の一部が溶融した。  (製品破損)	マグネトロン用リレーの接点が溶着したことから、調理物を取り出して扉を閉めた後も加熱を継続し、マイクロ波がターンテーブルに付着の食品カスに集中して溶融したものと推定されるが、接点が溶着した原因の特定はできなかった。  (G3)	輸入事業者は、同種事故の発生はあるものの拡大被害に至っていないことから、既製品に対する措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。	消防機関  (受付:2022/07/27)
2021-2362 2021/10/02  (事故発生地) 千葉県	電気カーペット  HJ-T20GX-C  シャープ(株) 使用期間：約15年	電気カーペットを使用中、電気カーペットのコントローラ一部と上に敷いていたじゅうたんの一部が焦げた。  (拡大被害)	長期使用(約15年)により、コントローラ内部にあるリレーに接点不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。  (C1)	製造事業者は、経年劣化による事故であるため、措置はとらないが、取扱説明書及びホームページに「長年ご使用商品の愛情点検のおすすめ」を掲載し、注意喚起を実施している。	消費者センター  (受付:2021/11/26)
2022-1922 2022/10/25  (事故発生地) 山形県	電気ストーブ  ST-M85(H)  松木技研(株)(倒産) 使用期間：約19年	使用中の電気ストーブから出火した。  (製品破損)	ヒーター管へ接続するファストン端子と内部配線の接続にカシメ不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと推定される。  (A2)	輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。	消防機関  (受付:2022/12/05)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1609 2022/02/19  (事故発生地) 北海道	電気ストーブ  使用期間：約30年	電気ストーブ付近から出火し、周囲を焼損した。	本体側の電源コードプロテクター付近に過度な応力が繰り返し加わったため、芯線が半断線し、短絡・スパークが生じたものと推定される。 なお、取扱説明書には、「電源コードをいたんだまま使うと、火災などの原因となる。コードを折り曲げたりするような使い方はしない。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であることから、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	製造事業者  (受付:2022/10/03)
2022-1913 2022/10/26  (事故発生地) 愛知県	電気ストーブ（オイルヒーター）  使用期間：約10年10か月	オイルヒーターの電源プラグを抜こうとしたところ、電源プラグ付近が発熱して、周辺を焼損し、指に火傷を負った。	事故品の電源プラグ内部に異常発熱した痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	輸入事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消費者センター  (受付:2022/12/02)
2022-2076 0000/00/00  (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ（遠赤外線式） 10FA  日本電装（株）（現（株）デンソー） 使用期間：不明	電気ストーブを使用中、電源プラグ付近から火が出た。	電源プラグに過度な外力が繰り返し加わったため、プラグ刃が変形して折損し、接触不良により異常発熱が生じて焼損したものと推定される。	製造事業者は、過度な外力による事故とみているため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	製造事業者  (受付:2022/12/27)
2021-2905 2022/01/27  (事故発生地) 東京都	電気ファンヒーター  使用期間：約3年8か月	電気ファンヒーターの一部が溶融した。	多量の埃が吸気口に付着して吸気が不十分となったため、風量不足によりヒーター近傍の外郭樹脂が過熱し、溶融したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「開口部をふさいだ状態で本製品を使用しない。本体吸気口にたまった異物はやわらかいブラシ等で取り除く。」旨、記載されている。	輸入事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/02/24)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-1915 2022/11/23  (事故発生地) 石川県	電気ファンヒーター（セラミックヒーター）  M05B  不明  使用期間：約8日3回	ネット通販で購入した電気ファンヒーターを使用中、異臭がし、周辺を焼損した。	ACインレットと内部配線との接続部にカシメ不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	輸入事業者が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関    (受付:2022/12/02)
2022-1695 2022/09/19  (事故発生地) 大阪府	電気やかん   使用期間：約7年	ネット通販で購入した電気やかん付近から火が出て、周辺を焼損した。	空焚き防止装置が作動しなかったため、空焚き状態となり焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	輸入事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。	輸入事業者    (受付:2022/10/17)
2022-1874 2022/11/16  (事故発生地) 愛知県	電子レンジ  AR-G18H  (株)電響社  使用期間：約3年	電子レンジから発煙し、庫内の一部が焼損した。	回転式タイマーのつまみが容易に回転しやすく、加熱設定してから3秒後に動作する設計であったため、使用者が意図せずつまみに触れてタイマーが入ったままその場を離れ、加熱が開始して空だき運転したことにより、マイクロ波がターンテーブルの回転ローラーに集中して焼損したものと推定される。	輸入事業者は、2020年5月18日付けホームページに注意喚起を掲載し、「誤ってタイマーつまみに触れると動作する可能性がある。」旨、記載している。また、2020年4月21日以降の製造分については、回転軸の耐熱性を向上した樹脂に変更するとともに、注意喚起チラシを本体天面に貼付した。 なお、当該製品は既に販売を終了している。	消防機関    (受付:2022/11/24)
2022-1730 2022/10/18  (事故発生地) 岐阜県	電子レンジ   使用期間：不 明	電子レンジ付近から異音が出て出火し、周辺を焼損した。	事故品から出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関    (受付:2022/10/25)



## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1748 2022/10/09  (事故発生地) 兵庫県	電子式冷温蔵庫  SCB-180L  総合技研(株)(倒産)  使用期間：約22年11か月	使用中の電子式冷温蔵庫から発煙した。	結露対策を講じた庫内側循環用ファンのモーター基板に水分が浸入したことにより、トラッキング現象が生じて異常発熱したものと推定されるが、水分が浸入した原因の特定はできなかった。	輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。	消防機関   (受付:2022/10/27)
2022-2336 2023/01/12  (事故発生地) 長崎県	電磁調理器(ビルトイン型)   使用期間：不明	電磁調理器で調理中のフライパンから出火し、周辺を焼損した。	市販のフライパンに少量の油(約100mL)を入れて揚げ物モードによる予熱を行ったため、油が過熱し発火したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「専用の天ぷら鍋以外は絶対に使わない。油は500g(550mL)未満では調理しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故であるため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	製造事業者   (受付:2023/02/03)
2022-2061 2022/12/03  (事故発生地) 愛知県	投げ込み式ヒーター   使用期間：約14日	ネット通販で購入した投げ込み式ヒーター付近から出火し、周辺を焼損した。	事故品は、他社製のタイムスイッチを介して使用し、使用後に事故品の電源プラグを抜かず、ヒーター部を浴槽から取り出したため、タイムスイッチの設定時間に再び通電したことにより、ヒーターが空焚き状態となり、焼損したものと推定される。	製造事業者等は不明であった。	消防機関   (受付:2022/12/26)
2022-2402 2023/01/08  (事故発生地) 京都府	配線器具(延長コード)  4947879701460(1m3口)  (株)セリア  使用期間：不明	延長コードを使用中、差込みプラグ付近から火花が出て、周辺を焼損した。	プロテクター部の樹脂材料(塩化ビニル)の柔軟性が低いこと、及びプロテクター部の形状、肉厚の影響等により、プロテクター先端部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。	輸入事業者は、2015(平成27)年9月24日付けで新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、店頭告知を行い、製品の回収及び返金を行っている。	輸入事業者   (受付:2023/02/13)

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-2165 2022/12/15  (事故発生地) 愛知県	配線器具（延長コード）  使用期間：不 明	延長コードを使用中、差込みプラグと壁コンセントが溶融した。  ( 拡大被害 )	組み立て式電源プラグと電源コードとの接続が不適切であったため、接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。 なお、事故品を組み立てた者は不明である。  ( F2 )	製造事業者等は不明であった。	消防機関  (受付:2023/01/13)
2022-1826 2022/09/14  (事故発生地) 愛知県	配線器具（延長コード、US B付）  使用期間：約4か月	延長コード付近から出火し、周辺を焼損した。  ( 拡大被害 )	事故品の確認できた電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、全ての電気部品を確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。  ( G1 )	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関  (受付:2022/11/14)
2020-1811 2021/03/02  (事故発生地) 広島県	浴室換気乾燥暖房機  使用期間：約3年	ネット通販で購入した浴室換気乾燥暖房機付近から出火し、住宅を全焼した。  ( 拡大被害 )	事故品の電気部品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。  ( F2 )	製造事業者は、被害者の施工不良による事故とみているため、措置はとらなかった。	消防機関  (受付:2021/03/23)
2022-1790 2022/10/13  (事故発生地) 神奈川県	冷温風機（加湿機能付）  使用期間：約4か月	ネット通販で購入した冷温風機を使用中、冷温風機付近から出火し、周辺を焼損した。  ( 拡大被害 )	事故品の電気部品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。  ( F2 )	輸入事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	消防機関  (受付:2022/11/08)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2100 2022/12/12  (事故発生地) 茨城県	ガスこんろ（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスこんろの内部配線の一部が焼損していた。	事故品は、修理事業者（ガス事業者協力企業）が修理を行った際、器具栓と一次側ガス通路部との接続に使用しているパッキンの取り付けを忘れ、微量のガス漏れが発生した状態で作業者が点火操作を行ったため、点火時のスパークが滞留した未燃ガスに引火して内部配線の一部を焼損したものと推定される。	製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。	公益事業者  (受付:2023/01/05)
2022-1769 0000/00/00  (事故発生地) 大阪府	ガスこんろ（都市ガス用、 クッキングテーブル）  使用期間：不 明	クッキングテーブルのガス接続部が焼損していた。	事故品の迅速継手式ガス接続部に組み込まれたコンセントパッキンに亀裂等の異常は認められず、異物の付着が認められたことから、迅速継手式ガス接続部とゴム管用プラグの間に異物が噛み込んだことで、ガス漏れが発生して焼損した可能性が考えられるが、接続部が溶融してガス漏れの有無は確認できず、焼損はガス定期保安点検時に確認され、使用状況等も不明であるため、原因の特定はできなかった。	製造事業者は、市場から引き上げた事故品のガス漏れの有無及び損傷状態を確認し、販売事業者へその情報を報告することにより、再発防止活動を行っている。また、販売事業者は、ホームページ上で、古いコンセント継手（迅速継手）の取り替えを推奨するとともに、機器本体にコンセント継手が内蔵されている機種はコンセント継手の交換ができないため、ガスこんろとしての使用は控えるよう注意喚起するとともに、所有者には電話連絡している。	国の行政機関  (受付:2022/11/01)
2022-1984 2022/11/14  (事故発生地) 東京都	ガスこんろ（都市ガス用、 ピルトイン型）  使用期間：不 明	ガスこんろの点火操作を繰り返したところ、内部配線の一部が焼損した。	事故品にガス漏れ等の不具合は認められず、バーナーの炎口が吹きこぼれにより閉塞された状態で点火操作を繰り返したため、ダンパー部（一次空気口）から未燃ガスが機器内部に漏洩し、再点火時のスパークが漏れた未燃ガスに引火して内部配線の一部が焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になる」、「点火操作をしても点火しない場合は、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故であることから、措置はとらなかった。	公益事業者  (受付:2022/12/12)
2022-1943 2022/11/19  (事故発生地) 福井県	ガストーチ  不明  不明  使用期間：約1年8か月	ネット通販で購入したガストーチを使用中、本体付近から火が出て、火傷を負った。	事故品は、火力調整つまみと連動したスピンドルに装着された2個のリングのつぶし代が不十分であったため、火力調整つまみ部分の気密性が低下し、漏れたガスに火口の炎が引火したものと推定されるが、設計や品質管理に関する情報が入手できず、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、2022年4月28日付けプレスリリースにより、粗雑な作りのガストーチによる事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消費者センター  (受付:2022/12/08)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2023 2022/12/11  (事故発生地) 愛知県	ガストーチ  不明  不明  使用期間：約2年1か月	ガストーチを点火したところ、本体付近から出火し、周辺を焼損した。	事故品は、火力調整つまみと連動したスピンドルに装着された2個のOリングのつぶし代が不十分であったため、火力調整つまみ部分の気密性が低下し、カセットボンベ装着時にガスが漏れ、点火操作の火が引火したものと推定されるが、設計や品質管理に関する情報が入手できず、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、2022年4月28日付けプレスリリースにより、粗雑な作りのガストーチによる事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関   (受付:2022/12/20)
2022-2037 2022/11/26  (事故発生地) 岐阜県	ガストーチ  不明  不明  使用期間：約3年8か月	ネット通販で購入したガストーチを点火したところ、本体付近から出火した。	事故品は、火力調整つまみと連動したスピンドルに装着された2個のOリングのつぶし代が不十分であったため、火力調整つまみ部分の気密性が低下し、カセットボンベ装着時にガスが漏れ、点火操作の火が引火したものと推定されるが、設計や品質管理に関する情報が入手できず、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、2022年4月28日付けプレスリリースにより、粗雑な作りのガストーチによる事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関   (受付:2022/12/21)
2022-1627 2022/09/23  (事故発生地) 千葉県	ガスふろがま（都市ガス用、RF式、給湯機能付）  GT-2410SAR  (株)ノーリツ  使用期間：約20年8か月	ガスふろがま付近から異音と異臭がし、フロントカバーが変形した。	事故品は、長期使用（約20年）により、水通路のバックインから微量の水漏れが発生し、長期にわたって水滴がガスパイプに滴下したため、ガスパイプが腐食して孔が開きガス漏れが発生、滞留した未燃ガスに点火操作のスパークが引火して異常着火し、フロントカバーが変形したものと推定される。	製造事業者は、ホームページで「屋外設置型ガス給湯器ご使用時の注意事項」と題し、経年劣化が進んでいると想定される事例や、危惧される機器リストを掲載して、長期使用製品について有償点検実施を呼びかけている。	公益事業者   (受付:2022/10/06)
2022-1781 2022/08/03  (事故発生地) 新潟県	ガスふろがま（都市ガス用、RF式、給湯機能付）  GT-2412SAWX  (株)ノーリツ  使用期間：約24年10か月	ガスふろがまのフロントカバーが変形していた。	事故品は、ケーシングの底部が著しく錆びており、長期使用（約24年）により、降雨などによって機器底部に入り込んだ微量の水が、徐々にガス金具と入ガスパイプ継手の嵌合部で隙間腐食を発生させ、生成した水酸化アルミニウムの体積膨張による腐食割れでガス漏れが発生し、滞留した未燃ガスに点火操作のスパークが引火して異常着火し、フロントカバーが変形したものと推定される。	製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかったが、取扱説明書で機器の経年劣化などによる事故防止の注意喚起について、年一回程度の定期点検を推奨しており、また、ホームページでは、経年劣化が進んでいると想定される事例を掲載し、機器点検の呼びかけを行っている。	製造事業者   (受付:2022/11/02)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1828 2022/08/12  (事故発生地) 東京都	ガスホース（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスこんろに接続していたガスホース付近から火が出て、接続部の一部を焼損した。	事故品は、ガスこんろ接続部付近の焼損状況が著しいことから、接続部付近からガス漏れがあったと推定され、事故品とガスこんろの接続が不完全な状態であった、若しくは事故品の劣化等により、接続部からガスが漏洩し、ガスこんろの炎が引火したものと推定されるが、事故品が廃棄されて詳細確認できず、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、ガス事業者は、業務機会時に継続してガスの安全な使用方法や日常管理について、取扱説明書または安全周知冊子等を用いて説明を行っている。	国の行政機関  (受付:2022/11/15)
2022-1685 2022/10/06  (事故発生地) 東京都	ガスホース（都市ガス用、迅速継手付）  使用期間：不 明	ガス栓付近から火が出て、ガスホースの一部を焼損した。	被害者が事故品をホースエンドタイプのガス栓に誤接続したため、不完全な接続状態となってガスが漏洩し、事故品と接続していたガスファンヒーターの点火時のスパーク等が未燃ガスに引火し、ガスホースが焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「ガス栓の形状を確認し、正しく接続する。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/10/13)
2022-2102 0000/00/00  (事故発生地) 千葉県	ガス給湯器（都市ガス用、FF式）  使用期間：不 明	機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。	事故品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況の詳細が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者は、拡大被害に至らないため、措置はとらなかった。 なお、ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音が発生する現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。	販売事業者  (受付:2023/01/06)
2022-2101 2022/12/06  (事故発生地) 東京都	ガス給湯器（都市ガス用、RF式、暖房機能付）  使用期間：約17年7か月	ガス給湯器のフロントカバーが変形していた。	事故品にガス漏れ、着火不良等の異常がないことから、一時的な強風等により、機器の給排気口が閉塞された状態で機器を使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、点火操作のスパークが引火し、異常着火に至り、フロントカバーが変形したことが考えられるが、製造事業者が機器調査ができなかったため、原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	販売事業者  (受付:2023/01/06)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日 受 付 年 月 日
2022-2022 2022/11/02  (事故発生地) 東京都	ガス給湯器（都市ガス用、開放式）  使用期間：不 明	ネット通販で購入したガス給湯器のガス接続部付近から火が出て、機器の一部を焼損した。  (製品破損)	事故品にガス漏れ等の異常はなく、被害者が取扱説明書等で禁止されているゴム管口を使用し、ゴム管口（ホースエンド）をパッキンなしで取り付けため、ガスがシールできずにガス漏れが発生して焼損に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書等には、「この機器はねじ接続であり、ゴム管口を使用した接続をしない。接続は配管技能者が行う。」旨、記載されている。  (E3)	製造事業者は、被害者の設置・施工不良とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/12/19)
2022-1698 2021/11/29  (事故発生地) 茨城県	ガス栓（LPガス用）  使用期間：不 明	使用中のガスこんろ付近から火が出て、火傷を負った。  (軽傷)	事故品とビルトインガスこんろとの接続部のねじの締め付けが不十分であったため、接続部が緩み、キャビネット内に滞留したガスに、使用中のガスこんろの火が引火し、火傷を負ったと考えられ、施工時のガス栓接続部の締め込み不良によるものと推定される。  (D1)	製造事業者は、施工事業者の施工不良による事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/10/17)
2022-1830 2022/09/25  (事故発生地) 愛知県	ガス栓（LPガス用）  使用期間：約30年	ガスこんろを点火したところ、ガス栓付近から漏れたガスに引火し、壁を焼損した。  (拡大被害)	事故品は、2口のヒューズ付きガス栓で、被害者が未接続側のガス栓を誤って開放したため、装着されていた保護キャップの隙間から過流出安全機構の作動流量以下の微量なガスが漏れ、滞留した未燃ガスにガスこんろの火が引火したものと推定される。  (E2)	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/11/15)
2022-1911 2022/11/09  (事故発生地) 兵庫県	ガス栓（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガス給湯器を点火したところ、ガス栓付近から火が出て、周辺を焼損した。  (拡大被害)	事故品は2口のヒューズ付きガス栓で、被害者が不使用側のガス栓を誤って開放したため、装着されていた保護キャップの隙間から過流出安全機構の作動流量以下の微量なガスが漏れ、滞留した未燃ガスにガス給湯器の火が引火したものと推定される。  (E2)	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/12/01)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2093 2022/11/08  (事故発生地) 神奈川県	ガス栓（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスこんろを点火したところ、ガス栓付近から火が出て、周辺を焼損した。	事故品は、2口のヒューズ付きガス栓で、被害者が不使用側のガス栓を誤って開放したため、被せられていたラップフィルムの隙間から、過流出安全機構の作動流量以下の微量なガスが漏れ、滞留した未燃ガスにガスこんろの点火操作時のスパークが引火したものと推定される。	製造事業者等は不明であった。 なお、ガス事業者は、業務機会時に継続してガスの安全な使用方法や日常管理について、取扱説明書または安全周知冊子等を用いて説明を行っており、また、不使用側ガス栓がある場合には、ガス栓の使用状況を確認した上で、誤操作防止用ガス栓カバーの取り付けを行っている。	国の行政機関  (受付:2023/01/04)
2022-2020 2022/10/26  (事故発生地) 新潟県	ガス栓（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスこんろを使用中、ガス栓付近から火が出て、周辺を焼損した。	事故品に接続されたガス可とう管（金属フレキシブルホース）が、キャビネット内の収納物による荷重を受けたことで、事故品との接続部に隙間が生じ、接続部から漏れたガスにガスこんろの火が引火したものとみられ、製品に起因しない事故と推定される。	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/12/19)
2022-2176 2022/12/31  (事故発生地) 岐阜県	ライター（ガス注入式）  不明  不明  使用期間：1回	中古で購入したライターを点火したところ、大きな炎が出て、周辺を焼損し、火傷を負った。	事故品は、樹脂製の燃料タンク（ポリアセタール製）の接合部に溶着不良があったため、亀裂が生じて注入したガスが漏れ、点火時に炎が上がったものと推定される。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関  (受付:2023/01/16)
2022-1829 2022/09/20  (事故発生地) 神奈川県	迅速継手（都市ガス用）  JG1000  (株)ハーマン  使用期間：約31年10か月	ガスこんろを点火したところ、ガス栓付近から火が出て、迅速継手及び周辺を焼損した。	事故品は、ゴム管部に曲げ応力がかかった状態で長期使用（約31年）されたことにより、ゴム管部が変形・硬化して亀裂が生じ、亀裂部からガスが漏れ、滞留した未燃ガスにガスこんろの火が引火したものと推定される。	製造事業者は、被害者の設置不良による事故とみているため、措置はとらなかったが、ホームページに「ガス栓とガス器具の接続」として迅速継手関係の正しい使い方を掲載し、「古くなったり、汚れがひどくなると、ガスもれにつながる恐れがあるため、製造年月より7年以内に新しいものと取り替える。」旨、注意喚起を行っている。	国の行政機関  (受付:2022/11/15)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1544 2022/09/10  (事故発生地) 東京都	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスコンロを使用中、ガス栓付近から火が出て、迅速継手の一部を焼損した。	事故品にガス漏れ等の異常はなく、現場写真から摺動環が縮んだまま取り付けられていたことから、ガス栓への接続が不完全な状態で使用されたと考えられ、ガス栓とコンロ台までの距離が短く、湾曲したガスホースの反力により事故品がガス栓から離脱しなかったためガスが漏洩し、滞留した未燃ガスにガスコンロの火が引火したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「本品とプラグの接続はカチッと音がするまで差し込む。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製造事業者はホームページ上に「ガス栓とガス器具の接続」と題して、迅速継手の正しい使い方を掲載し、2019年3月より、不完全接続防止対策として、正常な接続状態が目視確認出来る線（青色）が表示される製品を販売している。	国の行政機関  (受付:2022/09/20)
2022-1613 2022/09/17  (事故発生地) 千葉県	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：約2か月	ガスコンロを点火したところ、ガスホース付近から火が出て、周辺を焼損した。	事故品にガス漏れ等の異常はなく、摺動環が縮んだまま焦げていることから、ガス栓とコンロ台の距離が短く、湾曲したガスホースの反力により不完全接続状態でも事故品がガス栓から離脱せず、ガス栓の過流出安全機構の作動流量以下の微量なガスが漏れ、ガスコンロの炎が引火し周辺を焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「本品とプラグの接続はカチッと音がするまで差し込む。」、「必ず15cm以上のスペースが必要、スペースがない場合は、ゴム管用ソケットL型を使用する。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製造事業者はホームページ上に「ガス栓とガス器具の接続」と題して、迅速継手の正しい使い方を掲載し、2019年3月より、不完全接続防止対策として、正常な接続状態が目視確認出来る線（青色）が表示される製品を販売している。	国の行政機関  (受付:2022/10/04)
2022-1806 2022/10/04  (事故発生地) 茨城県	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：約14年2か月	ガスコンロを使用中、迅速継手付近から漏れたガスに引火し、周辺を焼損した。	事故品にガス漏れ等の異常はなく、摺動環が縮んだまま焦げていることから、ガス栓への接続が不完全な状態で使用されたと考えられ、接続部からガスが漏れ、滞留した未燃ガスにガスコンロの火が引火して周辺を焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「本品とプラグの接続はカチッと音がするまで差し込む。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 なお、製造事業者はホームページ上に「ガス栓とガス器具の接続」と題して、迅速継手の正しい使い方を掲載し、2019年3月より、不完全接続防止対策として、正常な接続状態が目視確認出来る線（青色）が表示される製品を販売している。	製造事業者  (受付:2022/11/11)
2022-1961 2022/00/00  (事故発生地) 東京都	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスコンロを使用中、ガス栓付近から火が出て、迅速継手に接続していたガスホースの一部を焼損した。	事故品の内部に異物の付着が認められ、異物が付着した状態で接続したためガスが漏洩し、漏れたガスにガスコンロの火が引火して焼損したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「プラグの先端やプラグ・ソケット内に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因になる。」旨、記載されている。	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/12/09)



## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1634 2022/09/24  (事故発生地) 東京都	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：約3年3か月	ガスこんろを使用中、ガス栓付近から火が出て、ガス栓カバーが溶融した。	事故品のパッキン部に異物が付着していたとみられる痕跡があり、被害者が異物の挟み込みに気づかず使用したことにより、異物によるシール性の低下でガスが漏洩し、ガスこんろの火が引火した可能性が考えられるが、調査時には異物は脱落して漏洩は再現されず、事故品には異常は認められなかったことから、製品に起因しない事故と推定される。	製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。 なお、製造事業者はホームページ上に「ガス栓とガス器具の接続」と題して、迅速継手関係の正しい使い方を掲載している。	国の行政機関  (受付:2022/10/07)
2022-1805 2022/10/28  (事故発生地) 新潟県	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスファンヒーターに接続していた迅速継手との接続部付近から異臭がして、周辺を焼損した。	事故品は、機器接続部のスライドバルブが破損して逆向きに再挿入されており、事故発生以前にスライドバルブが過剰に押し込まれて破損・脱落したのち逆挿入されたと推定され、ガスファンヒーターと接続した際に、不完全な接続状態となってガスが漏洩し、ガスファンヒーターの火が引火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/11/09)
2022-1960 2022/10/13  (事故発生地) 東京都	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスファンヒーターを点火したところ、ガス栓付近から火が出て、周辺を焼損した。	事故品にガス漏れ等の異常は認められず、事故発生時の使用状況が不明であるため原因の特定はできなかったが、ガス栓との接続が不完全であったこと等によりガスが漏れ、ファンヒーターの火が引火した可能性が考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/12/09)
2022-1959 2022/10/07  (事故発生地) 神奈川県	迅速継手（都市ガス用）  使用期間：不 明	ガスこんろを使用中、ガス栓に接続した迅速継手付近から火が出た。	事故品は、接続部のソケットカバー及びスリーブが破損しており、ガス栓と不完全な接続状態となって接続部からガスが漏洩し、漏れたガスにガスこんろの火が引火したと考えられるが、事故品が破損した時期や経緯は不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。	国の行政機関  (受付:2022/12/09)

## 製品区分： 03.燃焼器具

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2024 2022/11/04  (事故発生地) 神奈川県	石油ストーブ（開放式）  使用期間：不 明	石油ストーブから出火して周辺を焼損し、1人が重傷を負った。  (重傷)	事故品は、空気取り入れ口の下に炭化物の堆積が認められ、置台の表面に焦げつきや変色が認められたことから、置台に堆積したほこり等によりしん案内筒への空気の流入が阻害され、吹き返し現象が発生したと推定され、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	輸入事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、2021年11月25日付けプレスリリースにより、ストーブ、ファンヒーターの事故事例を紹介し、「手入れ不足による異常燃焼」に関する注意喚起を行っている。	輸入事業者  (受付:2022/12/20)
2022-0082 2022/04/02  (事故発生地) 青森県	石油ファンヒーター（開放式）  使用期間：約3年	使用中の石油ファンヒーター付近で爆発が起き、周辺を破損し、軽傷を負った。  (軽傷)	事故品に出火の痕跡は認められず、事故発生時の使用状況が不明であるが、室内に置かれていたスプレー缶が運転中の事故品の温風で過熱されて破裂し、気化した可燃性ガスに事故品の炎が引火して爆発した可能性が考えられ、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、スプレー缶による火災や破裂事故について、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	製造事業者  (受付:2022/04/22)
2022-2021 2022/12/08  (事故発生地) 石川県	石油ファンヒーター（開放式）  使用期間：不 明	使用中の石油ファンヒーター付近から異音が生じて出火し、周辺を焼損した。  (拡大被害)	事故品に異常は認められず、事故発生時の使用状況が不明であるが、付近にあったスプレー缶から噴出した可燃性ガスに運転中の事故品の炎が引火した可能性が考えられ、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、スプレー缶による火災や破裂事故について、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関  (受付:2022/12/19)
2022-2040 2022/10/28  (事故発生地) 新潟県	石油ファンヒーター（開放式）  使用期間：不 明	使用中の石油ファンヒーター付近から出火して、周辺を焼損した。  (拡大被害)	事故品に出火の痕跡は認められず、事故発生時の状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	製造事業者は、製品に起因しない事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/12/21)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1007 2022/06/02  (事故発生地) 不明	いす（LEDライト付、充電式）  使用期間：約1年	LEDライト付のいすをテーブルとして使用中、いすから火が出て周辺を焼損した。	リチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。  (G1)	輸入事業者は、事故原因が不明であるため、既製品に対する措置はとらないが、購入者へ充電方法に関する注意喚起ちらしを配布した。	輸入事業者  (受付:2022/06/29)
2022-1165 2022/06/27  (事故発生地) 静岡県	いす（折り畳み式）  使用期間：約10か月	いすを使用中、脚部が破損して転倒し、軽傷を負った。	事故品は、事故発生以前に座面前端を押し下げる強い負荷が加わり、座面支持用の金具とリベットがねじれ変形していたとみられ、被害者が着座した際に、リベットが破断し座面と脚部が分離していすが倒壊したと推定されるが、輸入事業者が一般家庭用の事故品を自社店舗内で業務使用したことで設計値以上の負荷が座面前端に加わった可能性や、いすが前方に転倒して上から負荷が掛かった可能性等も考えられ、事故発生までの詳細な使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。  (G1)	輸入事業者は、事故原因が不明であるため、既製品に対する措置はとらなかったが、一般家庭用製品の自社店舗での業務使用の中止と禁止の徹底をはかることとした。 なお、輸入事業者は、当該型式品の輸入を2021年11月に終了している。	輸入事業者  (受付:2022/07/28)
2022-1543 2022/08/08  (事故発生地) 群馬県	ドア（勝手口用）  使用期間：約1か月	ドアを開けたところ、ドアクローザーが外れて落下し、頭部に裂傷を負った。	事故品のドアクローザーは、施工時に取付板を勝手口ドアの上框に取り付ける時の固定ねじの締付けが不十分であったために、事故品の開閉により固定ねじが緩み、本体が取付板とともに外れて落下したものと推定される。  (D1)	製造事業者は、施工事業者の施工不良による事故であるため、既製品に対する措置はとらなかったが、より確実な作業につながるように取付説明書の改良を検討し、かつ、施工事業者を対象とした研修会等で、事故情報を共有して再発防止に向けた注意喚起を行う予定である。	製造事業者  (受付:2022/09/20)
2021-1159 2021/08/10  (事故発生地) 広島県	はしご兼用脚立（アルミ製）  使用期間：約1か月14日	はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、支柱が曲がって転倒し、軽傷を負った。	事故品の破損した支柱の肉厚・硬さに異常は認められず、被害者が事故品を傾斜した屋根の上に設置したため、事故品の脚部が滑り、上部の支えが外れて落下し、転落した被害者の身体が支柱に接触して支柱が曲がったものと推定される。 なお、取扱説明書には、「傾斜している地面や床、屋根の上に設置しない。」旨、記載されている。  (E1)	輸入事業者は、被害者の誤った使用方法による事故であることから、措置はとらなかった。 なお、NITEでは、2022年9月16日付けプレスリリースにより、はしご・脚立の誤った使い方での転倒・転落事故の事例を紹介し、注意喚起を行っている。	輸入事業者  (受付:2021/08/25)

製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1845 2022/10/07  (事故発生地) 愛知県	はしご兼用脚立（アルミ製）  使用期間：約3年	はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、支柱が折れて転倒し、軽傷を負った。  (軽傷)	事故品の破損した支柱の肉厚、硬さに異常は認められず、支柱側面が通常の使用における荷重方向とは異なる内側方向に破損していたことから、被害者が事故品を含む2台の脚立に足場板を通して設置し、一方の脚立から事故品へ乗り移って天板をまたいで使用しようとした際にバランスを崩して転倒し、身体が支柱に接触して変形したものと推定される。 なお、取扱説明書及び本体ラベルには、「二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わない。」「天板の上には、絶対に乗ったりまたがったりしない。バランスを崩して転倒や転落の危険がある。」旨、記載されている。 (E1)	製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故であることから、措置はとらなかった。	輸入事業者  (受付:2022/11/16)
2022-1710 2022/10/01  (事故発生地) 東京都	はしご兼用脚立（アルミ製）  使用期間：不明	はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、支柱が曲がって転倒し、軽傷を負った。  (軽傷)	事故品の支柱の肉厚、硬さに異常は認められず、補助者による支えがないままはしご状態で使用していたことで、事故品の設置部が後方に滑り、水平に近い状態となったはしごに、バランスを失った被害者の身体が接触し、支柱が破断したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「転倒や転落の恐れがあるため、はしごで使うときは、必ず大人の補助者がはしごを支える。」旨、記載されている。 (E2)	製造事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/10/19)
2022-2179 2022/11/02  (事故発生地) 熊本県	はしご兼用脚立（アルミ製）  使用期間：不明	はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転倒して軽傷を負った。  (軽傷)	事故品の破損した支柱の肉厚及び硬さに異常は認められず、支柱端部が使用時における荷重方向とは異なる内側方向に変形していたことから、事故品の昇降面が壁面と垂直となるように設置して作業していた際に、インパクトレンチで壁面を強く押すなどして反動でバランスが崩れて事故品が背面側へ倒れ、落下した被害者の身体が接触したことで事故品の支柱が変形したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「使用中、脚立の上で壁や物を無理に押したり引いたりしない。反動で脚立が不安定になり転倒や転倒する恐れがある。」旨、記載されている。 (E2)	輸入事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者  (受付:2023/01/17)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1901 2020/00/00  (事故発生地) 長野県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1902 2022/08/23  (事故発生地) 兵庫県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1903 2022/10/11  (事故発生地) 北海道	洗面化粧台  SJ-75M3JK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1904 2022/10/14  (事故発生地) 富山県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通 知者 受付年月日
2022-1905 2022/10/20  (事故発生地) 岐阜県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1906 2022/10/20  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下し、軽傷を負った。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1907 0000/00/00  (事故発生地) 群馬県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)
2022-1908 0000/00/00  (事故発生地) 岐阜県	洗面化粧台  SJ-75M3RK  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/11/30)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2062 2022/11/04  (事故発生地) 埼玉県	洗面化粧台  SHC-60M  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、現時点での事故発生率及び危害の程度が低いと判断し、既製品に対する措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2063 2022/11/07  (事故発生地) 群馬県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2064 2022/11/08  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SHC-75MK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、現時点での事故発生率及び危害の程度が低いと判断し、既製品に対する措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。 なお、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2065 2022/11/12  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SJ-75M3RK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下し、頭部に軽傷を負った。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2066 2022/09/00  (事故発生地) 大阪府	洗面化粧台  SCU-75M3RK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2067 2022/11/15  (事故発生地) 福井県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約20年4か月	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2068 2019/00/00  (事故発生地) 奈良県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2069 2019/00/00  (事故発生地) 静岡県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約20年6か月	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)



## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2070 2017/00/00  (事故発生地) 長野県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2071 2022/11/17  (事故発生地) 兵庫県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2022/12/26)
2022-2234 2021/00/00  (事故発生地) 長野県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下し、頭部に軽傷を負った。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2235 2022/11/28  (事故発生地) 東京都	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2236 2022/12/07  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2237 2022/12/06  (事故発生地) 大阪府	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2238 2022/12/06  (事故発生地) 大阪府	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2239 2022/12/09  (事故発生地) 愛媛県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2240 2022/12/15  (事故発生地) 静岡県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2241 2022/12/19  (事故発生地) 北海道	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2242 2022/12/23  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2243 2017/00/00  (事故発生地) 奈良県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約13年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通 知者 年月日
2022-2244 2019/00/00  (事故発生地) 秋田県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年6か月	洗面化粧台のキャビネットが落下し、腕に軽傷を負った。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/01/27)
2022-2453 2023/01/05  (事故発生地) 広島県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)
2022-2454 2023/01/10  (事故発生地) 千葉県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約18年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)
2022-2455 2023/01/13  (事故発生地) 奈良県	洗面化粧台  SCU-75M2K  タカラスタンダード(株)  使用期間：約17年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2456 2022/01/00  (事故発生地) 群馬県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約19年	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)
2022-2457 2017/00/00  (事故発生地) 群馬県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：約20年6か月	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)
2022-2458 0000/00/00  (事故発生地) 神奈川県	洗面化粧台  SCU-75M3PK  タカラスタンダード(株)  使用期間：不明	洗面化粧台のキャビネットが落下した。	当該製品は、荷重が集中する壁への取付部が樹脂製で、素材(ポリスチレン)の耐薬品性が低く、壁紙に含まれていた可塑剤(フタル酸エステル)の当該製品への移行、製品自体の荷重によるクリープ、振動による疲労、酸化劣化等の複合要因が重なった結果、強度低下を引き起こし、徐々に固定部が破損して最終的に製品が脱落したものと考えられ、耐久性に関する設計が不十分であったと推定される。	製造事業者は、2016年2月9日付けで新聞及びホームページに社告を掲載し、さらに、2021年11月30日付けで新聞に再社告を掲載し、無償で壁との固定部分の改修を行っている。また、後継機種については、素材を耐薬品性の強いポリプロピレン(PP)にするとともに、固定箇所も4か所から5か所に増やしている。	製造事業者   (受付:2023/02/21)
2022-1876 2022/11/05  (事故発生地) 富山県	踏み台(アルミ製)    使用期間：約7年	踏み台を使用中、支柱が曲がって転倒し、軽傷を負った。	事故品は足場台脚立で、破損した支柱の肉厚及び硬度等に異常はなく、被害者が片側脚面の開き止め金具を掛けていなかったため、作業中の体重移動等により脚面が内側に折りたたまれ、バランスを崩した被害者の身体が反対側の脚面上に落下し、脚面が変形したものと推定される。 なお、取扱説明書には、「全ての止め金具を確実にロックする。止め金具のロックが不十分な状態で使うと、足場台が折りたたまれて、転倒や転落のおそれがある。」旨、記載されている。	輸入事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	輸入事業者   (受付:2022/11/25)

## 製品区分： 05.乗物・乗物用品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1669 2022/08/14  (事故発生地) 不明	自転車（マウンテンバイク類 形車）  使用期間：約6日	子供が自転車で走行中、前輪が外れ て転倒し、軽傷を負った。	事故品のクイックリリースのカムレバーの 締付調整不良により、前輪の固定が不完全で あったため、走行中にカムレバーが開き、前 輪が外れたものと考えられるが、カムレバー の締付調整不良が発生した時期及び事故発生 時の詳細な使用状況が不明であり、原因の特 定はできなかった。	輸入事業者は、製品に起因しない事故と みているため、措置はとらなかった。	輸入事業者  (受付:2022/10/11)
2020-0325 2020/05/10  (事故発生地) 千葉県	自転車（電動アシスト車）  PM26NLDX  ヤマハ発動機（株）  使用期間：約7年10か月	自転車で走行中、ハンドルがロック して転倒し、軽傷を負った。	当該製品は、ハンドルがロックされた状態 で過大な力が加わると使用者に異常を知らせ るためにハンドルロックのケースを意図的に 破損させる設計であったが、ケースが破損す ると内部のロックレバーの動きをガイドする 溝が広がってロックレバーがカムから外れ、 振動等でロックレバーが動いて意図せずロッ クが掛かる危険性に対して、技術的な保護対 策が講じられていなかったため、ハンドル ロックのケースが破損していた状態で走行し た際に突然ハンドルがロックしたものと推定 される。	製造事業者は、2019年6月24日よ り、対象製品について、無償点検及び保護 対策済品への改修を実施している。	製造事業者  (受付:2020/06/18)
2022-2188 2022/01/28  (事故発生地) 広島県	自転車（幼児用）  YGA307  ピープル(株)  使用期間：約1年1か月	幼児が自転車を使用中、別の幼児が チェーン付近に手指を入れて、指を負 傷した。	事故品は、チェーンケースがJISを満た しておらず、露出したチェーンとギヤへ容易 に触れることができる構造であったことか ら、使用者がペダルを逆回転させて動いて いたチェーンとギヤの間に被害者が手を入れた ことで指が挟まれたものと考えられる。 なお、取扱説明書には、警告として「子 どもが乗る自転車に、別の子どもを近づけな いようにする。」「回転部分には触れな い。」旨、記載されている。	輸入事業者は、2022年5月27日か らホームページで注意喚起を行い、販売店 にも注意を呼びかけている。また、複数の 同種事故が発生していること及び事故の重 大性を考慮し、2022年10月17日か ら社告を開始し、後付けの保護カバー （チェーンを覆う形状）を同年12月中旬 頃から当該製品を所有している消費者に無 料配布し、取り付けが困難な消費者は販売 店での無償取り付けが行えるよう販売店へ の周知も徹底する。また、配布されるま での期間は必ず保護者が近くにいる状態 で注意して使用する旨を注意喚起する。残 在庫にあっては、保護カバーを取り付けた 状態で販売している。	輸入事業者  (受付:2023/01/18)

製品区分： 05.乗物・乗物用品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-1784 2022/09/17  (事故発生地) 長野県	電動車いす（ハンドル形、四輪）  使用期間：不 明	電動車いすで走行中、畑に転落して死亡した。  (死亡)	被害者が事故品の運転操作を誤ったことで、柵のない駐車場から崖下に転落したものと推定され、製品に起因しない事故と推定される。  (F2)	製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/11/04)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1523 2022/05/14  (事故発生地) 北海道	バッテリーパック（ニッケル水素、電動工具用）  使用期間：1回	ネット通販で購入した電動工具用バッテリーパックを初回充電中、バッテリーパックから発煙して破裂し、2人が軽傷を負った。	非純正品のバッテリーパック（ニッケル水素）をニッケルカドミウムバッテリー専用充電器で充電したため、電池セルが過充電となって内圧が上昇し、破裂したものと考えられるが、基板が未回収であることから、原因の特定はできなかった。	ネット通販で海外事業者から購入（個人輸入）したものであり、輸入事業者が存在していないため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関  (受付:2022/09/15)
2022-1732 0000/00/00  (事故発生地) 不明	バッテリーパック（リチウムイオン、ファン付上衣用）  使用期間：不明	充電中のファン付上衣用バッテリーパックから発煙し、焼損した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらないが、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととした。	輸入事業者  (受付:2022/10/25)
2022-1452 2022/08/02  (事故発生地) 北海道	バッテリーパック（リチウムイオン、掃除機用）  不明  不明  使用期間：約3か月	ネット通販で購入した掃除機用バッテリーパックを充電中、バッテリーパックから異音が生じて出火し、周辺を焼損した。	非純正品のバッテリーパックの電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	輸入事業者が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関  (受付:2022/09/02)
2021-0042 2019/00/00  (事故発生地) 神奈川県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02（BE-ENDS635用）  パナソニック サイクルテック（株）  使用期間：約5年7か月	電動アシスト自転車用のバッテリーパック付近から異音が生じて破裂し、周辺を汚損した。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2021/04/07)



## 製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2021-0043 2020/08/20  (事故発生地) 東京都	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY494B02（BE-1ENMD036用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約6年1か月	電動アシスト自転車用のバッテリーパック付近から異臭がして焼損し、フローリングが焦げた。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2021/04/07)
2021-0044 2020/08/26  (事故発生地) 千葉県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY494B02（BE-1ENMD036用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：不 明	電動アシスト自転車用のバッテリーパック付近から異音が生じて発煙し、棚が焦げた。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2021/04/07)
2021-1587 2021/06/20  (事故発生地) 大阪府	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02（BE-END636用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約6年3か月23日	電動アシスト自転車用のバッテリーパックから異音が生じて破裂し、周辺を汚損した。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2021/10/07)
2022-1945 0000/00/00  (事故発生地) 東京都	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY454B02（BE-EKWT752用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約7年	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが変形していた。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2022/12/08)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2042 0000/00/00  (事故発生地) 静岡県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02（BE-END636用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約7年	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが変形していた。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2022/12/22)
2022-2380 0000/00/00  (事故発生地) 奈良県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY452B02  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：不明	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが破裂し、周辺を汚損した。	電池セル周辺の水分が抜けにくい構造であったため、滞留した水分が電池セルのカシメ部から浸入したことにより、内部短絡が生じて異常発熱し、焼損したものと推定される。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2023/02/09)
2021-0045 2020/09/19  (事故発生地) 千葉県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02B（BE-ENH544A用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約4年11か月	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが破裂して溶融した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2021/04/07)
2022-1763 2021/04/03  (事故発生地) 大阪府	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） X0T-20（PA26NXL用）  ヤマハ発動機（株） 使用期間：約4年2か月	充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパックから火が出た。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、2022年4月5日付けホームページ及び翌6日付け新聞に社告を掲載し、無償でバッテリーパックの交換を行っている。	製造事業者  (受付:2022/10/31)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1764 2021/08/23  (事故発生地) 神奈川県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） X0T-20（PA26NM用）  ヤマハ発動機（株） 使用期間：約4年6か月	充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパックから火が出た。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、2022年4月5日付けホームページ及び翌6日付け新聞に社告を掲載し、無償でバッテリーパックの交換を行っている。	製造事業者  (受付:2022/10/31)
2022-1765 2022/01/18  (事故発生地) 神奈川県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） X0T-00（PA20BXL用）  ヤマハ発動機（株） 使用期間：約5年	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが焦げた。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、2022年4月5日付けホームページ及び翌6日付け新聞に社告を掲載し、無償でバッテリーパックの交換を行っている。	製造事業者  (受付:2022/10/31)
2022-1766 2021/09/01  (事故発生地) 埼玉県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） X0T-20（PA20KXL用）  ヤマハ発動機（株） 使用期間：約3年6か月	電動アシスト自転車用のバッテリーパックから発煙した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、2022年4月5日付けホームページ及び翌6日付け新聞に社告を掲載し、無償でバッテリーパックの交換を行っている。	輸入事業者  (受付:2022/10/31)
2022-1827 2022/07/24  (事故発生地) 東京都	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY510B02  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：不 明	電動アシスト自転車用のバッテリーパック付近から異音がし、破裂した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/11/14)

## 製品区分： 06.身のまわり品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-1924 2022/08/04  (事故発生地) 京都府	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02（BE-ENNX634用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：不 明	充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパックから異音が生じ、発煙した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/12/05)
2022-1946 2022/09/00  (事故発生地) 京都府	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY450B02  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：不 明	電動アシスト自転車用のバッテリーパックが破裂していた。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、2020年4月21日付けホームページ及び翌22日付け新聞に社告を掲載するとともに、販売先に書面及びチラシ・ポスターで協力要請し、顧客名簿より電話又はダイレクトメールで個別に連絡し、バッテリーパックの無償交換を実施している。	製造事業者  (受付:2022/12/08)
2022-1947 2022/09/26  (事故発生地) 奈良県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY384B02（BE-EKW63用）  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約10年3か月	充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパックから破裂して発煙した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/12/08)
2022-1995 2022/08/11  (事故発生地) 東京都	バッテリーパック（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） NKY514B02  パナソニック サイクルテック（株） 使用期間：約7年	充電中の電動アシスト自転車用のバッテリーパックから発煙した。	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定はできなかった。	製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。	製造事業者  (受付:2022/12/14)

## 製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-1524 2022/06/29  (事故発生地) 北海道	バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）  BL1860B（互換品）  不明  使用期間：約8か月	ネット通販で購入した電動工具用バッテリーパックを充電中、バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。	非純正品のバッテリーパックに、セル間の電圧のアンバランスを検知する回路がない構造であったため、過充電により異常発熱し、焼損したものと推定される。	ネット通販で海外事業者から購入（個人輸入）したものであり、輸入事業者が存在していないため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関    (受付:2022/09/15)
2022-0791 2022/05/08  (事故発生地) 愛知県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）  使用期間：約1年2か月	ネット通販で購入した電動工具用バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。	非純正品のバッテリーパックの電池セルが異常発熱して焼損したものと考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関    (受付:2022/05/19)
2022-1560 2022/09/13  (事故発生地) 香川県	バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）  使用期間：不明	電動工具用バッテリーパック付近から出火し、建物を全焼した。	非純正品のバッテリーパックが異常発熱し、焼損した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	警察機関    (受付:2022/09/26)
2022-1803 2022/10/09  (事故発生地) 京都府	バッテリーパック（リチウムイオン、電動工具用）  BL1460（互換品）  不明  使用期間：約2年	ネット通販で購入した電動工具用のバッテリーパックを充電中、バッテリーパックから異音が出て出火し、周辺を焼損した。	非純正品のバッテリーパックの電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、原因の特定はできなかった。	輸入事業者が不明であるため、措置はとれなかった。 なお、NITEでは、事故防止のためのプレスリリースやホームページで同様の事故事例を紹介し、注意喚起を行っている。	消防機関    (受付:2022/11/09)

製品区分： 06.身のまわり品

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2022-2362 2023/01/22  (事故発生地) 兵庫県	バッテリーパック（リチウムイオン、電熱手袋用）  使用期間：約1年4か月	ネット通販で購入した電熱手袋用のバッテリーパックを充電中、バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。  (拡大被害)	電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。  (G1)	製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。	消防機関  (受付:2023/02/07)
2022-1944 2022/08/08  (事故発生地) 不明	靴（サンダル）  131-2193014（ブランド：FREE'S MART）  （株）アンダーグローリー  使用期間：不明	サンダルの甲バンドが抜けていた。  (製品破損)	製造工程で品質のばらつきがあったことで、社内基準の引抜強度に満たない不具合品が混入し、甲バンドが抜けたものと推定される。  (A3)	販売事業者は、2022年8月31日付けでホームページに社告を掲載し、商品回収を行っている。	販売事業者  (受付:2022/12/08)

製品区分： 08.レジヤ-用品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-1844 2022/08/13  (事故発生地) 不明	ペンライト (玩具)  ライトアップワンド ミッキー (ブランド: ディズニー・オ ン・アイス) (有) エル・イー・エス  使用期間: 不 明	ペンライトの乾電池から液漏れし て、皮膚炎を発症した。	事故品に付属している乾電池 (マンガン単 4形) に不具合があったため、液漏れしたも のと推定されるが、不具合が生じた原因の特 定はできなかった。	輸入事業者は、2022年8月20日付 けでホームページに社告を掲載するととも に、販売を中止し、無償交換又は返金を実 施している。	輸入事業者       (受付:2022/11/16)
		(軽傷)	(G3)		

製品区分： 10.繊維製品

管 理 番 号 事 故 発 生 年 月 日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	情 報 通 知 者 日
2022-1983 2022/08/01  (事故発生地) 兵庫県	寝具 (マットレス)  使用期間：約2か月	マットレスを使用中、臀部に軽傷を負った。  (軽傷)	寝たきり状態の被害者が病院で事故品を使用した際、わずかに背上げた状態となっていたため、臀部が体重による圧迫を長時間受け、床ずれを生じたと考えられるが、事故品を確認できず、事故発生時の詳細な状況も不明であるため、原因の特定はできなかった。  (G1)	製造事業者は、取扱説明書の床ずれに関する注意内容を改善した。	製造事業者  (受付:2022/12/12)